

か み

議 会 だ よ り

12月定例会 第8号

平成19年1月25日発行
発行 兵庫県香美町議会
編集 議会広報特別委員会
電話 0796-36-1111
<http://www.town.mikata-kami.lg.jp/>

— CONTENTS —

- **高齢者に負担増** (後期高齢者規約の制定) 2
- 新議員紹介 7
- 住民の声 届くか (14人が一般質問) 8～14
- この人 ここにあり 18



平成20年

「後期高齢者医療制度」 スタート

75歳以上に 保険料負担



老後も笑顔で

この制度は、新医療法（昨年6月成立）にもとづき新設されたもので都道府県ごとにつくられる広域連合（全市区町村が加入）が運営します。

平成20年4月から始まり、75歳以上の高齢者（後期高齢者）を従来加入していた国民健康保険などから切り離し、独立した新たな保険です。

保険料については、いままで家族から扶養されていた人も含め、すべての後期高齢者から徴収する方針です。介護保険と同様に年金からの天引きも行なわれます。

質疑

問 医療を受けにくい地域も同じ保険料か

えません。

答 県で一つの広域連合をつくるので同じです。

但馬の医療を都市並みにし格差のない医療にすることが必要です。

問 独居老人を増やすことにならないか

答 国保も同じ保険料のしくみです。独居世帯を促進することにはなりません。

問 後期高齢者の生活が追い詰められないか

答 負担が増えるのは確かです。将来高齢者の医療制度を存続させるためやむを得ないです。

問 滞納した場合はどうなるのか

答 国保と同じで一年以上の場合は短期保険証などになると考えられます。

問 民意は反映されるのか

答 41市町から各一人の議員が選出され、反映されます。

反対討論

・長く人生を頑張った老人の負担を増やし、家族と切り離すシステムだ。
・長年地域を支えた高齢者に新たな負担を強いる。医療機関の少ない田舎も都市と同じ負担は無茶だ。

賛成討論

・維持が難しい制度を再スタートして、老人医療を継続していくため妥当である。
・福祉充実はいいことだが、後世の若者の負担に目をむけないといけない。
・国会で選択されたこと。医師確保の主張をしていくことで老人に理解してもらおう。苦渋の選択だが賛成。

採決の結果、賛成多数で可決しました

一般会計補正予算を可決

冬の生活・道路を守ります

低所得の一人暮らし、高齢者だけの世帯に屋根の雪下ろし費用の補助をします。

道路の除雪委託料五千万円を追加、補正後総額は六千五百万円に

生活、通勤、通学路の安全確保を行います。

質疑

問 除雪費を受益者に負担を求めるのか

答 生活関連道路は求めません。

香美町は状況が違う中で負担をどうするかですが、不公平にならないように基本は利益を上げている関係者に対して応分の負担をお願いしたいと考えております。

人家からはなれたスキー場までの進入道路、牛舎迄の路線については関係者に

負担をお願いしたいので話し合いを進めていきます。

問 ハチ北スキー場へ通じる道路の除雪費の負担は

答 財政が厳しいので除雪費を少し見直したいと考えております。ハチ北スキー場の重要性は認識しています。木の殿堂から先の除雪費を少し応援していただくよう協議しています。スカイパレイスキー場にも橋からの上の部分についてもお願いしています。

問 災害に伴う通行止、迂回道の除雪費用の負担を

求めるのか

答 村岡区宿の災害に対する負担は畜産振興面を考慮しながら飼料運搬、牛市、大雪の時に随時、回数を限定して除雪するなど総合的に考えて話し合いをしたいと思います。

問 除雪対応が旧町で考え方が統一されていない、香美町としての考え方を問う

答 観光、畜産としての旧町の取り扱いを考慮、公私の区別をはっきりさせて最終的に統一したいと考えます。



早朝から活動する除雪車

問 町道改修はどのような計画により行うのか

答 福岡中大谷線は県代行事業で進めてまいります。全長1,400m、幅員5.5mで片側一車線道路であります。県に事業評価提出する予備設計費用として480万円計上しています。

問 職員共済組合・職員退職手当組合の納付金はどのような状況になっているのか

答 決算後、報告を受けています。今後議会へ情報を提供する方向で検討します。

問 学校管理費の光熱水費100万円とあるが

答 村岡小学校の中庭の池への水がもれていたのが原因でした。管理職の予測能力、危機管理意識がうすかったものであります。今後十分注意指導してまいります。

いよいよ旧庁舎解体へ

山手住宅団地の 利便性向上

国道178号と県道村岡・香住線の交差点改良（拡幅）に伴い、庁舎移転を余儀なくされ、新庁舎の建設も完了したため、解体するものです。旧庁舎、法務局跡地に建てられた車庫兼書庫も合わせて解体工事されます。賛成多数で可決しました。なお、解体工事は平成19年1月から3月にかけて行われます。

- 一、契約の目的
庁舎等解体整備工事
- 二、契約の方法
10者による指名競争入札
- 三、契約の金額
2,940万円
- 四、契約の相手方
（資）中村組

- 香住区若松に開発中の山手住宅団地と既成市街地を結ぶため、JR山陰線の線路下に道路を通す工事（跨道橋）をJR西日本と契約するために議案が提出されました。全員賛成で可決しました。
- 一、契約の目的
町道山手若松線道路改良事業に伴う山陰線柴山・香住間香住BV（跨道橋）新設工事基本協定
 - 二、契約の方法
道路と鉄道との交差に関する協議等に係る要綱第11条第1項に基づく基本協定の締結
 - 三、契約の金額
3億2,071万円
 - 四、契約の相手方
西日本旅客鉄道(株)



ありがとう旧庁舎

質疑

問 交差点改良、国・県道拡幅工事の見通しは
答 平成19年6月に工事発注し、10月中の完成予定です。

問 解体後の跡地利用は
答 法務局跡地は、売却の予定です。

本庁舎跡地については、将来的には、人が集まりやすい施設に利用したいと考えています。しかし、現時

点では、財政的な面を考慮して、当面は、歩道に沿ってフェンスを張り巡らせ、小学校グラウンドの延長として利用する考えです。

問 過去、幼稚園敷地として利用する考えがあったが
答 検討対象にはしていませんが、敷地としてはやや狭く、騒音問題をどう解決するかなど課題もあります。

一日市1工区下水工事 路線縮小により減額

- 主に、岡見公園内施設への下水道接続見直しにより、約196mの路線減少に伴い、当初の工事金額の減額をするものです。
- 一、契約の目的
一日市1工区污水管渠布設工事
 - 二、契約の金額
変更前 1億258万円
変更後 8千905万円
 - 四、契約の相手方
（株）伊藤組

郷のこころの発信拠点に…

質疑

矢田川交流センター新設

問 一条例で規則に定める日から施行とし、規則では条例で定める」となっているが、議案として体を成しているか

答 同時になるので法制的に誤りはありません。

問 特産物の販売箇所、また、対象品種・地域をどのように考えているか

答 入り口の土間コンクリート部で朝市を考えています。販売品種、対象地域は特定しません。

問 運営形態と安全安心な産物の販売については

答 応募された50人の新しい組織で当面は週に2日自主運営していただきます。

また、EMコーナーや生産者表示など安全・安心な産物の販売を応募者も意識されています。

問 赤字が出た場合、補填するのか

答 考えていません。

問 水産物販売について、保健所と協議しているか

計画の施設で使用に耐えられるか

答 保健所との協議を含めて内部で検討します。



心をこめて育てました

上計ふれあい会館

管理は上計区で…

「上計ふれあい会館」を新築し、上計区が管理することになった。



今子浦グラウンドの照明完備 更なる交流・連帯の場へ!

グループ活動の活性に期待して 一点灯ー



問 施設利用料の消費税の扱いが不統一だが

答 全体を見直して4月から統一します。

問 利用料の設定根拠は

答 北但管内の同規模施設の利用料と他市町の動向、更に、行革の協議、利用者の負担感を考えて設定しました。

問 町の内外で料金が設定

答 入場料、参加費をとられる営利目的の利用は、1

問 郡大会、練習試合の利用はどうなるのか

答 若者定住の施設目的にそって、町内グループの申請なら町内料金で利用していただきます。

問 コンサートや各種スポーツ教室などは十倍の料金になるのか

されているが、その判断は町民については税の還元の見地から半分の額としました。町内の活動団体の利用に適用します。

時間につき1万5,000円を頂きます。但し、町が後援する等の場合は別に検討します。

今子浦グラウンド利用料

	グラウンド	夜間照明	
		全部点灯の場合	部分点灯の場合
町民	1,575円/回	1,500円/30分	750円/30分
町民以外者の	3,150円/回	3,000円/30分	1,500円/30分

改正

- 今子浦運動場条例の一部
- 矢田川交流センター条例の制定
- 上計ふれあい会館の指定管理者の指定

の3議案は、全て全員賛成で可決しました。

総額

249億8千万円

使いました

平成17年度

決算を認定

9月定例会で決算特別委員会に付託されていた平成17年度一般会計、特別会計決算をそれぞれ認定しました。

質疑

問 主要な施策の成果及び基金運用状況説明書は、「成果」とあるが「実績報告」であつて、成果になつていないのではないか

答 成果書は地方自治法に基づくものです。具体的な記載方法はなく、各自治体で調整しています。決算の数字に合わせて、成果として捉えられるような形にしていきたいと思ひます。不十分な点もあり、最小限度の注記を入れるなど、事業の成果を表記していきます。

問 町税等における差し押え物件の換価実行基準は

答 問題はいろいろありますが、今後は換価まで取り

組む必要があります。県や先進地の事例をもとに、換価の基準を作りたいと思ひます。

問 公共施設が現存する借地、また転賃借地について、地上権等の担保設定を行つていないように見受けられるが、法的に善意の第三者に対し対抗できるのか

答 借地借家法第10条により、登記しなくても対抗できます。私法上の契約と解されますが、公共施設の場合、契約解除権が執行できません。町が行う契約でも借地借家法が適用になります。第三者への対抗策はあります。

問 住宅改修貸付金について債権をどう担保するのか

答 平成17年度末まで7件、約一千万円の未収があります。どう対応するかは当面の課題です。他の市町でも同じ事例があるので、参考にして取り組みます。

問 通学対策について、地域自治区ごとの議論にして

いないか。町全体で考えるべきでは

答 現状では旧3町の中でバス、JR、自転車などバラバラです。補助率を見直したいと思ひます。行財政改革検討委員会からも2分の1補助の中間答申を示されています。負担の上限を設定しています。



寒さに負けず

委員会視察報告

文教民生常任委員会

委員長 上田 勝 幸

中高一貫教育について

◆研修の目的

近年、本町では少子化等により地元高校(県立香住高校、県立村岡高校)への進学意欲が希薄となり、苦慮するところである。最近では定員割れが続き深刻な事態を招いている。
この現状をこのまま放置すると高校の存続のみならず、町の将来にも悪影響を及ぼしかねない。このような状況を打開することが喫緊の課題である。
本委員会では香美町と類似する岐阜県揖斐郡揖斐川町が取組んでいる「連携型中高一貫教育」の取り組みを視察研修することにした。



◆揖斐川町の教育方針

- ・ 子供たち一人一人が郷土に誇りを持ち、相手を思いやる心を育む教育。
- ・ 家庭と地域と学校が力を合わせ、心身ともに逞しく豊かな心をもつ子供を育てる教育。
- ・ 人が人として生きる教養、良識を身につけさせる。
- ・ 子供たちに夢や希望を与え、逞しい生き方を創造させる。などの「ふるさと教育」を実施している。

◆揖斐川町での「中高一貫教育」の現状

平成14年に、中高一貫教育の設置が決定され、2年間の研究期間を経て16年度より発足した。
その後も、地元に着目した教育に取り組んでいる。

1. 中高交流事業の実施

教員の定期、不定期的な相互間授業の実施。
揖斐高校での中学生の体験学習、部活動の交流、

その他の交流行事の実施

2. 広報活動の実施

アンケートの実施やパンフレットを作成し、揖斐川町全戸に配布。

また講演会も行い地域への浸透も図りながら、中高一貫教育の啓蒙を図る。

3. 教育課程における連携

教育の連携、交流により中高の教員、生徒間の相互理解が深まり、中高の距離が縮まることにより身近な存在となった。

地域に愛着や誇りを持つ、そんな雰囲気醸成され、生徒も自己に目覚めるとともに自己啓発に取り組むようになった。

新議員紹介



古岡 菊雄 議員

小代区茅野

趣味 グラウンドゴルフ

信条、モットー

何事にも挑戦する心を持つ事。何事にも熱意を持ち努力する事。

特に力を入れたいこと

一、小代区の農業をダメにしている野猿対策。

二、美しい山、川、海を活かし交流人を増やし、活気と、活力のある町づくり。

◆まとめ

「中高一貫教育」導入後2年半が経過したが、地域の学校としての評価は高まった。

①生徒、保護者、地域住民の目が揖斐高校に向くようになった。

②いろんな連携を通じ、揖斐高校生に憧れる中学生が増えた。

③揖斐高校への入学希望者が増えるなど着実に成果が出ている。

※香美町でも中高一貫教育を取り入れるなら、地元の高校を育て、発展させる礎にもなると思う。

人権擁護委員

人権擁護委員として、次の2名の方の推薦に同意しました。ご活躍を期待します。



香美町村岡区入江1807番地の1 松岡 泰子さん



香美町小代区鍛冶屋335番地 水間 忠一さん

町政を問う

12月定例会での一般質問は、12月8日から13日まで14名の議員が町政全般について質問を行いました。

質問と答弁の要旨は次のとおりです。



立派な新庁舎完成したが



この子等に明るく香美町を

新年度予算、事業は財政健全化への基礎となる年度



岡田 公男 議員

財政健全化の目標年度は 健全化の目標年次は10年間

である。町長は重点的予算主義をと述べられているが、歳入の確保の見直し、19年度末の財政調整基金の見込みは、事業はどのように進めるのか、町民福祉の向上、補助制度など維持が難しい、厳しい状況を町民と共に分かち合いながら行政を執り

行っていくのか、健全化の目標年度は、まちづくりを進めていく基本的考えを伺う
町長 厳しい財政状況ですが、将来のまちづくりに対応すべきことは必要性和緊急性を十分考えながら

財政運営を行ないます。
基金7億円は堅持、財源不足4億円はあらゆる可能性を総点検して確保します。健全化の目標年次は10年間、3年後、10年後にどういう方向へもっていくか具体的にまちづくりの展望を提示して目標に向って町と町民一体となって難局をのり切る、分かちあつていくことを検討し相談してまいります。

合併後の香美町の本格予算として18年度がスタートしたものの、財政運営は大変だとの思いは、町民にはあつたと思う。まさか実質公債費比率が県下一高いと



寺川 秀志 議員

は、想定外のことであり、町内に衝撃が走った。
今後も歳入増が期待できない状況にあつて、どのように予算編成を行うのか、町長の所見を伺う。
一、新規事業の見込みは二、各種補助金の削減は三、町税滞納の回収は四、町有財産の売却は五、基金の取り崩しは

強い決意を持って、現在その取り組みを行っています。まず、新規事業は基本的にゼロベースで点検します。補助金は住民の理解を得ながら削減を図ります。町税の滞納の回収は98.66%の収納率を99%にしたいと思つています。
町有財産の売却は売却可能なものは売却したいと思つています。
基金は7億円を厳守します。

財政厳しい中19年度予算への取り組みは 健全財政へ強い決意をもつて取り組みます



汽車通学も大変だね

旧町ごとの対応についてある程度の格差は、その町の事情や、特殊性があるから止むを得ないと理解してきたが、厳しい財政状況を考えるとき、種目によって



後垣 晶一 議員

公平を欠く格差は早期見直しを見直し期間の短縮に努めます

は見直しに4年も要するのでは、余りにも悠長すぎるのではないかと。特に通学費、縁故地等に対する補助金、使用料等の格差は大きく、町民に対する不平等な行政対応は、公平を欠くものであり、今後の対応について整理するもの、見直しするものも含め、改革の意気込みを問う

町長 年々財政が厳しく、

香美町にとってその環境が大変厳しくなっております。今までの考え方を全面的とは言いませんが、個々の補助金、手数料等修正できる部分の見直し期間の短縮を図っていく、即時修正を図っていく、そうした努力をこれから来年度に向けての最終的な検討時期を迎えますので、その考え方のもとに取り組んでまいります。



診療所の存続をお願いします



白岩安喜夫 議員

医師不足による本町の医療行政は大転換期となつて

香美町の医療体制の方向は 安心して暮せる医療体制の構築

いる。香住病院の運営危機。村岡病院の縮小、それにもない村岡区四診療施設の存続が危ぶまれている。少子高齢化が進むなか、安心して暮せる医療体制こそ町民の願いである。医療の空白地域が懸念される昨今本町の医療体制の方向を示

町長 地域の医師不足は本場に深刻であります。香住病院の運営は、危機的状況でありますが地域医療を守るため全力を尽くしています。今後は医療体制検討委員会の答申に従い年

度内に改善案を示します。村岡病院は運営には問題はありませんが医師不足は深刻です。最終的には病院組合で方向が決まると思われ、副管理者として存続に取組みます。村岡区四診療施設は、香美町長として、存続に向け精一杯取組んでまいります。



抜本的な入札制度改革に期待



対策を急げ

地域全体の治水対策を急げ 現実的な方法で対応します



小林 利明 議員

香住谷川及び森谷川水域
の抜本的治水対策として香

住谷川上流部からトンネル
で矢田川に放水する案が示
されて久しいが、事業化の
用途は

また、他に対策を検討す
る柔軟な対応はできないか

町長 トンネル放水路
案については「矢田川の改

善が先決である。その上で
香住谷川、森谷川を含めた
地域全体の治水対策を考え
るべきではないか」という

矢田川下流域の皆さんの声
をうけて、県土木は、矢田
川橋上流部の雑木や堆積土

砂の除去対応と河川整備基
本方針、河川整備計画をコ

ンサルで検討しています。
19年度には、地域代表を
含めた検討委員会をスタ
トさせて検討を加え、21年
度本格工事着手を県は考え
ています。

そうした矢田川流域の対
応と並行して香住地域全体
の治水対策は、トンネル放
水路案、その他の方法を含
め、現実的な方法を求めて
早急に対応します。

入札制度改革は必要ないか 来年度、限定的に一般競争入札導入



吉田 範明 議員

新聞紙上、テレビで入札
談合事件が数多く報道され
国においても談合防止策と
して法律の制定・改正がな
されている。

また、香美町においては

県下一高い実質公債費比率
であり、行財政改革の必要
性が叫ばれている。

このような状況の中、現
在の入札制度でいいのか疑
問が湧く。制度改革の具体
的方法・方策はあるか

町長 一連の事件に自
治体幹部がかかわることは、
大変遺憾であります。いつ
どうして起こるかかわらな
いことを前提に、取るべき

対応は、積極的に取ってい
く考えです。

まず、現在の指名競争入
札制度の厳格な適応、併せ
て、来年度から五千万円規
模以上の工事発注について、
町内に本・支店を置く業者
に限定し、一般競争入札を
実施します。

そして、点検を行いなが
らさらに但馬地域を対象に
と段階的に拡大していく必
要があると考えています。



どうなる？ 余部鉄橋

①現在進められている余部鉄橋利活用検討会の検討内



西川 誠一 議員

余部鉄橋は全面撤去しないのか 安全確保を前提に検討している

容はどうなっているのか
②鉄橋直下の浜地区の住民が全面撤去を望んでいるが、地元意見の集約はどういう方法で行ったのか
③県に要望する「鉄橋記念館」はどういうものか

町長

①平成18年3月

余部地区全体では、安全が確保されれば将来のために残そうという意見があり

から県と町の検討委員会を行い、西側3本を残す案を提案することになりました。
②浜地区の意見を参考に、余部地区全体の意見を集約しました。

ました。
③文化遺産としての価値を後世へ伝え、余部地区の発展の一つとして提案します。また、道の駅として物産館的な機能も考えています。



通学対策が重要



長瀬 幸夫 議員

村岡区3中学校の統合はどのように 統合にむけて検討委員会を設置

村岡中学校の統合はどのように進めているのか、行政報告の中では「村岡区3中学校統合検討委員会」を設置し、12月6日に第一回の委員会を開催されたと報

告があったが、今後、どのように見える形にしていくのか
③通学に関する事は④統合の時期についての四項目を中心に検討をして頂くようにしております。任期は19年7月31日となっております。子育て世代が大半で意見は十分に聞けると思っています。委員会の状況は随時、公にしていかなければと思っております。

教育長

村岡中学校の統合にむけて検討委員会を設置。委員には村岡区自治会代表、3小学校代表、3中学校代表、女性代表、若い世代、識見を有する人からそれぞれ3人づつ18人で構成。検討事項として①統合する位置はどのようにする



すくすく草育ち

購買者（肥育農家）から濃厚飼料を減少させて粗飼



西村 伸一 議員

畜産!! 購買者が求める子牛づくりとは 畜主が自立できるように支援します

料をたっぷりと与える事により健康的で胃袋のしっかりした子牛を好むと聞かされている。

その手法としてJAではその条件を満たした子牛を、すくすく草育ちと命名して市場へ出荷している。

濃厚飼料を控えて干し草、

わらを多く食べさせて胃袋の強い牛を育てる方向を強力に進めるのか

町長 「すくすく草育ち」

は町内で10戸の畜主で70頭程度です。種々の共進会で審査員の講評として異口同音に今但馬牛は濃厚飼料を

食べさせすぎて体は肥えているが肥育農家にとっては歓迎できない方向に、まずそこを改めなくてはと云っておられます。なぜ農家はその事を守らないか、何か別の事情でもあるのかなと思います。購買者が求める方向に皆が一生懸命やるという方向を培う事が必要です。農家が自立できるように支援します。



3年後には存廃を検討



西坂 秀美 議員

18年3月の医療検討委員会の答申では、香住病院の診療科の見直しを含めた積極的経営改善を実施とある。町内5つの診療所も赤字解消が困難なものは3年後に

どうする、香住病院・診療所 公的医療機関として取り組む

存廃を検討するとして診療日数を調整した。香住病院は今年度、看護師の派遣、配置転換等を行ったが経営改善方針をどう具体化し収支改善に努めるのか。3階の医療病床への移行は結論が出てないが、どう決断したのか

町長 診療所は高齢者対策として最寄りの所で初期治療を行う機関として必

要です。日数を制限して対応していますが3年後に今後の方向は決めたいです。香住病院は3億数千万円の不良債務がありますが町立病院として責務を果たすことが必要です。療養病床につきましては老健施設へ移すことが国の政策ですから、療養病床で入って、2年後には老健に移ることを前提に話を詰めているところで



大きく育て、香美町の宝

一般質問等の町長答弁について、その後取り組みが進行しているか伺う。

(1) ①乳幼児福祉医療制度の現物給付は答弁どおり19年4月には実施できるか



川端 政明 議員

町長 (1) ①受給者証の切り替えなど事務更新を6月にしますので7月1日

知っています。出産予定者には個別に通

手間が大きく省け喜ばれる。新年度から実施できるか

(2) なんとか早くとの思いで検討し、手続きも確定しましたので12月1日からす

現すれば対象者にとっては

②対象年齢を引き上げる考

②少子化対策を総合的に考

「償還払いやめる」「進んでいるのか」 「出産育児金」12月からしている



職員の給与制度の改革は



森 利秋 議員

①職員定員適正化計画について数値を明確に示せ

②17年度決算で正規職員の人件費は19億2千万円、一人平均約8百万円である。他市町では諸手当カット、基本給までカットしている。本町も職員の給与制度の改革を行い、人件費を削減すべきと考えるが

町長 ①定員適正化については本町の財政状況等も考えながら決めたい。最終的には行革委員会のご意見も賜って決めていくが、20数名の縮減が一つの数字と考えており、20年度末までにはおおよそ達成したいと考えています。

②19年度は収入が最低4億円不足いたします。人件費で他市町がカットしている方法については本町においても全ての分野について、できる範囲のことをやり、4億円の確保を責任を持って対応していきます。

職員定数と人件費を削減せよ!! 職員数も人件費も削減する



がんばります！

救急搬送体制はだいじょうぶか！

香住病院の体制が一番の問題です



浜上 勇人 議員

香住病院の医療体制の後退により、香住区の住民の

豊岡病院への通院、入院が増えている。救急患者も同様の状態であり、豊岡病院への搬送が増え、救急車が不在になるという異常事態まで生じている。そのことにより軽微な状態で済んだものが重篤な状態に陥ったり、あるいは命を失ったり

ということが懸念される。救急搬送体制についての現状と対策を問う

町長 確かに香住病院に来ておられた時間外の患者が、豊岡へ移られている傾向が非常に強くなっています。

香住道路の開通と香住病院の夜間制限が原因と考えます。報告では、消防車で取りあえず運んで途中で救急車に乗りかえたことが3、4回ありました。住民の皆さんの不安も増幅してきますので消防署の体制の問題として十分検討します。根本的には香住病院で24時間救急体制をとることが一番の問題だと思います。



大いに活用したいもの



山本 賢司 議員

今、28.8%の実質公債費比率で住民を不安に陥し入れている。特別会計を含めた49億円の年間借金返済は大変だが、借金を増やさぬことと、整備した施設を

町総合計画で、住民の一致結束を 借金を増やさず、町の将来方向を

最大限活用する施策を展開することが大切だ。「下水道料金が怖い」と接続は伸びない。接続支援が求められている。

総合計画を準備中だが、総花的でなく、重点を明示し、住民が一致結束できるものに仕上げ、明るい展望を示せ

町長 指摘の比率は、10年後、18%の見通しを持

ち、新たな投資は極力抑えていく。下水道も同じです。今日まで整備した施設を生かす方向へ政策転換に努めます。ただ、当面の財政資金確保を図るため、必要な出費を抑えたいと思います。総合計画は3月議会を目前に、財政状況の変化も入れ、住民と共有できる町の将来方向を示したいと思えます。

議会だより「かみ」 入選に輝く



第27回兵庫県議会広報紙
コンクールにおいて、かみ
議会だより（第5号）が入
選いたしました。

この栄誉を得ることがで
きましたのも、議会広報特
別委員の努力だけではなく、
議会に御支援を頂いている
町民皆様のお陰だと確信し
ております。

審査講評では、特集記事
の「この人、ここにあり」
の企画など議員のみで制作
していることが評価を
受けました。

我々、議会広報特別委員
会としましては、この結果
におごることなく、町民の
皆様に読みやすく愛される
議会だよりの発行を心がけ
てまいります。

今後も取材などを通じて
皆様と一緒に親しまれる議
会だよりの制作に取組みま
すので、ご愛読いただきま
すようお願い致します。



橋 秀 夫 氏

橋 秀夫議長 県議長会長に就任

香美町議会議長、橋
秀夫氏は平成18年10月
13日付をもって、兵庫
県町議会議長会会長に
就任されました。

今後は健康に留意され、
卓越した手腕を発揮され、
地方自治進展のために
ご活躍されることを期
待いたします。



入選したかみ議会だより第5号

前垣議員の御冥福を お祈りいたします



主な職歴

昭和44年 美方町奉職
平成8年 郡広域助役
平成15年 美方町議員
平成17年 香美町議員

小代選挙区選出の前
垣憲一議員におかれま
しては、療養の甲斐な
く昨年11月12日ご逝去
されました。

前垣議員は、平成15
年より旧美方町の議員
として、また、平成17
年からは本町の議員と
して活躍されていました。

議会においては、文
教民生常任委員会副委
員長をはじめ議会広報
特別委員に就任。美方
広域消防や八鹿病院の
組合議員も務められる
など多岐にわたり町政
発展のため寄与されて
いました。

また、「ふるさと小代」
を誰よりも愛し、直面
する猿などの有害鳥獣

問題やふるさと教育に熱
心に取組まれ、一般質問
においては、よく勉強さ
れ、名調子で迫力のある
質問をされてきました。

この12月定例会におい
ても一般質問を行うと意
気込んでおられた矢先の
訃報でした。

今後に期待するものが
大きかっただけに無念を
表現する言葉が見つかり
ません。

我々議員は、前垣議員
の高い志を引継ぎ町政発
展のため今後も全力を傾
注してまいります。

ここに、前垣議員の御
功績と御遺徳を偲び謹ん
で追悼の意を表し御冥福
をお祈り申し上げます。

請 願

小学校、中学校における通学費補助の従来通り継続を求める請願書

請願者 村岡幼稚園 P T A

代表者 中村 恵美

外8団体

「請願の趣旨」

旧村岡町時代から私たちの地域では、子育て子育て日本一を目指してまいりました。香美町になって、公共料金などのあらゆる生活費にかかる住民の負担が値上げされていますが、ここでまた通学費個人負担となると保護者にとって大変な負担増となります。町財政の厳しさもよく認識しておりますが、教育費に関しては、香美町の宝を育てる意味で聖域とし、従来通りの通学費補助を継続していただきたく思います。

「請願事項」

1. 小学校、中学校の通学費補助を、19年度以降も従来通り継続すること。

文教民生常任委員会へ審査付託

本会議にて委員長より審査報告

請願者からは、通学費の問題は、村岡区だけの問題ではなく町全体の問題でもあり、村岡の補助体系が町全体に広がった方が良く、この思いでお願いしたとの説明があった。

委員会審査では、次のような質疑と討論があり、採決の結果、賛成多数で採択することに決した。

質疑

問(委員) 平成19年度以降も従来通り継続とは各区まちまちな補助を継続か

・「従来通り」の文言は全町的とは、理解できないが

答(請願者) 通学補助をしてもらわないと子育てをする世帯が少なくなる。

行政が公平性を図るべきで、善意に解釈して欲しい。本意は、村岡区の制度を町全体に広げることである。

反対討論

- ・従来通り継続することは、納得できない。
- ・財政の状況を考えれば、町民の理解が得られない。

賛成討論

- ・村岡区の制度を、どの区にも反映すべきである。
- ・どの区でも、教育の機会均等を保障すべきである。

委員会採決

賛成多数で、採択

本会議

委員長への質疑

問 文面の「従来通り」を解釈すると格差が残るが、統一解釈しないままに採決したのか

答 善意に解釈し、香美町全域に広げて欲しいと理解した。

反対討論

- ・請願文は、全町的と解釈できない。
- ・補助の地域間格差を固定して継続するようになっている。
- ・格差は是正すべきだ。

賛成討論

- ・子育て世代に負担をかけるのはやめるべきだ。
- ・義務教育だけは機会均等の原則でやるべきだ。
- ・委員会の採択は重い。

採決

(無記名投票により)

反対11人賛成8人
請願不採択



みんなで仲良く通園します



どうする。地上デジタル化対応

意見書

それぞれ政府の関係機関に意見書を提出しました。

地上デジタル放送による情報格差対策と 円滑な移行・活用を求める意見書

1. 地上デジタルがどの地域においても視聴できるように山間部等における共同受信施設や伝送路の広帯域化など、デジタル化の推進に対する支援措置の創設・拡充を図ること
2. 地域情報の発信や交流に大きな役割を担う地域放送局の中継局のデジタル化にかかる支援措置の拡充を図ること
3. 地上デジタル放送への移行に伴い、生活保護世帯などの低所得者や高齢者世帯に過度の負担が生じる場合には適切な支援を行うこと

国に対する緊急に医師確保対策を求める意見書

1. 産婦人科・小児科をはじめ、医師不足の診療科について、国・県が連携して医師確保のための緊急措置を講じること

全国森林環境税の創設を求める意見書

森林のもつ公的機能に対する新税として「全国森林環境税」を確保できるようにすることを強く求める

兵庫県知事に意見書を提出しました。

兵庫県に対する緊急に医師確保対策を求める意見書

1. 産婦人科・小児科をはじめ、医師不足の診療科について、国・県が連携して医師確保のための緊急措置を講じること
2. 医療確保対策協議会が地域医療を守る立場で協議されるよう指導と援助をおこなうこと



急げ!! 医師確保

一人一人にあり

(村岡区)



西村 吉雄 氏

今回は、ハチ北温泉協同組合理事長の西村吉雄さんをお訪ねしてハチ北温泉についてお話を聞かせていただきました。

地域の連帯により

組合の発足と

組合員の構成は

昭和47年9月22日に、大笹区内で旅館、民宿を営んでいる者で設立しました。

組合の主な目的は

ハチ北温泉の事業を通して、経済的地位の向上を図ることを目的にしています。

ハチ北温泉「湯治の郷」を建設・運営するきっかけは

ハチ北スキー場開設以来スキーと温泉はセットとの考えのもとスキー客の外湯

ら「療養温泉」として売出そうと考えています。

また、温泉療法医の資格を持つておられる村瀬興平先生にご指導いただきながら香美町民を対象にした、温泉療養の講話を聞く会を開催したいと思っています。これからも、大笹区から支援を受けながら、区と一体となつて温泉の経営を進めていきたいと思っています。

四季型観光を目指す

苦勞が報われたと

思うこと

数々の苦勞のかいあつてハチ北温泉「湯治の郷」が出来上がりました。竣工式の関係者は感慨一入でした。今後は、四季型観光を目指す療養温泉として町の協力を得ながら地域の発展に大きな役割を果たしたいと思っています。そして県内はもちろん県外からもお訪ねしていただけるように頑張りたいと思います。

今後の活動目標は

ハチ北温泉の特徴はラドンを多く含む泉質で、アトピー等にもよく効くことから「療養温泉」として売出

ハチ北温泉「湯治の郷」開業までのあつさり

ハチ北高原スキー場開業後、地域の有志によつて、厳冬の中で冷え切った心身を暖ため、疲勞を癒し、更にハチ北スキー場の発展を願つて、昭和45年、温泉ボーリングに着手した。2年の歳月をかけて、昭和47年9月1号泉源の掘削に成功する。泉質は近畿地方にはない「ラジウム療養規格温泉」として認定され、大笹区民施設に給湯され、「山峡のいで湯・ハチ北温泉」としてスタートする。また、地域からの温泉施設の氣運が高まり、組合員の相互扶助の精神に基づき、行政の支援を受けて地域一体の努力のもと平成14年12月30日、「ハチ北温泉湯治の郷」として営業を開始。

”万病に効く名湯”としてその名を馳せ、現在に至る。

るので、機会があるごとにPRをお願いしたいし、私共湯治の郷の運営に対しても温かく見守っていただきたいと思っています。今後は観光ばかりでなく、療養にも訪れていただくようにと思つていきますのでご支援をお願いします。

更なる支援を

取材を終えて

西村理事長は、村岡観光協会長も兼ねておられ、香美町全般の観光行政にも話が及び予定時間をオーバーしてしまいました。この熱い思いが近い将来、実現す



ハチ北温泉「湯治の郷」香美町村岡区大笹地内

編集後記

昨年とうつて変わつて雪のない年末年始になりました。

この議会だよりが町民の皆様のお手元に届く頃には、新庁舎での役場業務も順調に進んでいると思います。

改めて香美町のスタートを実感します。

財政問題で町民の皆様にご心配をおかけしている中、我々議員も新たな気持ちで議会活動に励んでまいります。

議会広報特別委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 寺川 秀志 |
| 副委員長 | 小林 利明 |
| 委員 | 吉田 範明 |
| | 川端 政明 |
| | 西坂 秀美 |
| | 岡田 公男 |
| | 浜上 勇人 |